

日 中 科 学 技 術 (二) 連 絡

日 中 科 学 技 術 交 流 協 会 事 務 局

〒106

東 京 都 港 区 六 本 木 三 の 十 六 の 二 三
タ ウ ン コ ー ト 六 本 木 三 〇 七

電 話 〇 三 (五 八 五) 八 七 一 〇

協 会 第 一 回 訪 中 代 表 団 が 出 発

— 四 月 二 八 日、中 国 科 学 院 の 招 き で —

協 会 訪 中 代 表 団 は 中 国 科 学 院 の 招 き を 受 け

四 月 二 八 日 か ら 五 月 八 日 ま で 北 京、上 海 を 訪

問 す る。協 会 代 表 団 は 第 九 回 常 任 理 事 会 で 選

出 さ れ、わ が 国 の 理 学、工 学、農 学、医 (薬)

学 界 を 代 表 す る 人 に よ っ て 構 成 さ れ た。

北 京 で は、中 国 科 学 院、中 国 全 国 科 学 技 術

協 会、中 国 農 学 会、中 華 医 学 会、中 国 国 家 科

学 技 術 委 員 会 と 日 中 科 学 技 術 交 流 に つ い て 深

く 打 合 せ を 行 い、ま た 代 表 団 員 の 専 門 に 応 じ

て 中 国 科 学 院 所 属 研 究 所、学 会、大 学 で 講 演

会 を 開 催 す る。

代 表 団 名 簿

団 長 有 山 兼 孝 協 会 会 長・元 日 本 物

(理) 理 学 会 長・名 大 名 誉 教 授

顧 問 越 智 勇 一 協 会 常 任 理 事・日 本

(農) 農 学 会 長・前 日 本 学 術 会 議

会 長・麻 布 獣 医 大 学 長・元

東 大 農 学 部 長

団 員 梶 山 正 雄 元 日 本 発 生 生 物 学 会

(理) 長・日 本 学 術 会 議 会 員・梶

山 女 学 園 大 学 教 授・名 大 名

誉 教 授

団 員 梅 沢 純 夫 次 期 日 本 化 学 会 長・

(理) 生 物 有 機 化 学 研 究 所 長・慶

大 名 誉 教 授

団 員 小 野 周 日 本 物 理 学 会 長・日

(理) 本 学 術 会 議 会 員・東 大 名 誉

教 授

団 員 鈴 木 平 東 京 理 科 大 学 教 授・

(理) 東 大 名 誉 教 授

団 員 大 沢 文 夫 元 日 本 生 物 物 理 学 会

(理) 長・阪 大、名 大 教 授

団 員 橋 口 隆 吉 協 会 常 任 理 事・日 本

(工) 結 晶 成 長 学 会 長・元 日 本 金

属 学 会 長・東 京 理 科 大 学 工

学 部 長・東 大 名 誉 教 授

団 員 高 橋 秀 俊 元 日 本 情 報 処 理 学 会

(工) 長・元 日 本 物 理 学 会 長・慶

心 義 塾 大 学 教 授・東 大 名 誉

教 授

団 員 近 藤 次 郎 協 会 常 任 理 事・元 日

(工) 本 ロ ケ ッ ト 協 会 長・国 立 公

害 研 究 所 副 所 長・東 大 名 誉

教 授

団 員 八 十 島 義 之 助 土 木 学 会 副 会 長

(工) 日 本 学 術 会 議 会 員・東 京 大

学 教 授

団 員 柳 井 久 義 電 子 通 信 学 会 副 会 長

(工) 東 京 大 学 教 授

団 員 坂 口 勝 美 元 日 本 林 学 会 長・農

(農) 林 水 産 省 林 業 試 験 場 研 究 顧

問・日 本 林 業 技 術 協 会 常 勤

顧 問

団 員 松 尾 孝 嶺 日 本 農 学 会 副 会 長・

(農) 垂 細 亜 大 洋 州 育 種 学 会 長・

玉 川 大 学 教 授・東 大 名 誉 教

授

団 員 高 原 滋 夫 日 本 学 士 院 会 員・川

(医 薬) 崎 医 科 大 学 教 授・岡 山 大 名

誉 教 授

団員 亀谷哲治 日本薬学会副会頭・

(医薬) 日本学術会議会員・東北大

学教授、薬学部長

団員 菅原 努 京都大学教授、医学

(医薬) 部長・京都大学放射線生物

学研究センター長

事務局長 漆戸 暎 協会事務局長

事務局員 竹花弥生 協会事務局員

— 第九回 —

常任理事会開催

第九回常任理事会は二月二日(水)午後二時から四時まで東京青山、日中経済協会会議室で開催し、協会第一回訪中代表団の派遣について審議し、団員の選出、訪中代表団の任務、派遣時期について決定した。また会議では、武見太郎日本医師会会長が中華医学会の招きに応じ訪中することなど第八回常任理事会以降の報告、会計報告と日中學術センターの状況についての説明を受けた。

出席者

有山兼孝会長、越智勇一、鹿取一男、

茅誠司、近藤次郎、野上茂吉郎、橋口隆

吉常任理事

井上春成監事

田中脩二郎参与、漆戸暎事務局長

中国農業現代化のモデル県(湖南省桃源県)に協力

中国科学院農業科学視察団が来日

中国科学院は三つの省と協力して農業現代化のため東北地区の黒龍江省海倫県、華北地区の河北省 県、南部の湖南省桃源県に新しい農業研究センターを開設した。

この研究センターはこれら三地域の農業現代化の過程におけるさまざまな科学問題、経済問題を研究し、その成果を普及する農業科学総合実験基地である。中国の国土は南北五

五〇〇余キロ、緯度の差が四九度もある。地勢、土質が複雑であるだけでなく、気象条件も多様である。このような条件から中国の公式報道は「いまなお主に手作業にたよっている立ちおくれた農業を近代的な農業に切りか

えるには、長期にわたる多くの活動が必要であり、それは当然農業科学の発展なくしては実現することはできない」と述べている。

昨年三月に開かれた中国全国科学会議で農業科学は中国社会の発展を促す科学技術の八つの重要部門の一つに選定されている。

研究センターの実験活動は

— 農作物の安定多収穫、品質向上、消耗率

(湖南省桃源県)

に協力

の引き下げ、高効率、農業機械化に対応する耕作システムの研究。土壌改良、治水に関する研究。主な動物、植物の品種改良と育成に関する研究。農業における各種新技術の普及と応用。農業経済、農村のエネルギー資源、牧畜業の機械化の研究などとなっている。

中国科学院は昨年十一月日中協会学術代表団で訪中した茅誠司団長、田村三郎団員を通じて協会に三つの研究センターの内、湖南省桃源(滋賀県とほぼ同面積)農業現代化総合科学試験基地の協力要請があった。

協会第八回常任理事会は出来るかぎり協力することを決め、先ず中国科学院の要望を受け、中国科学院農業科学視察団の来日を招請した。

中国科学院農業科学視察団は三月二二日から四月十二日まで来日し各地を視察した。

中国科学院農業科学視察団名簿

団長 石山 中国科学院農業支援弁公

室主任

副団長 李慶遠

中国科学院桃源農業現代化研究所長・中国科学院南京土壤研究所副所長・中国第五回人民代表大会大表

団員 楊大治

湖南省科学技術委員会副主任

団員 劉更另

中国科学院桃源農業現代化研究所副所長

団員 龔子同

中国科学院南京土壤研究所助教

団員 劉行悌

湖南省桃源県革命委員会主任・中国第五回人民代表大会代表

団員 夏德濟

湖南省機械工業局副技師長

通訳 張士斌

中日友好協会職員

訪問先

東京大学農学部 京都大学農学部、東京農業大学、農林水産省農業技術研究所・熱帯農業研究センター・果樹試験場・農業土木試験場・農事試験場、農業機械化研究所、静岡県農業試験場・養鶏試験場、浜松市三方原地区農場、天龍林業組合、大東町地区農場、水源開発公団豊川用水、愛知県水産試験場、豊橋市港木材コンビナート、愛媛県果樹試験場・大津養豚団地、熊本県農業試験場・不知火

地区農場、鹿児島県農業試験場・林業試験場・畜産試験場・薩摩町・示塔院町・大口市農場、東海漬物、久保田鉄工堺工場・技術講習所・筑波工場・ヤンマー農機中央研究所、井関農機松山工場、日熊工機盛岡工場。

また中国科学院農業科学視察団は熊本県知事、鹿児島県知事、浜松市長と会見し、県、市と桃源県の協力についてきわめて友好的に話合った。農林水産省、静岡県、愛知県、愛媛県、熊本県、鹿児島県及浜松市日中友好協会、福岡県日中友好協会、熊本県日中友好協会、京都日中科学・技術者交流協会、日本国際貿易促進協会京都総局は団がその所属・地方と視察する時、心のこもった協力をされた。

中国科学院桃源農業現代化研究所へ
協会から先遣団を派遣

中国科学院は今年下半期に湖南省桃源県に協会から農業科学協力代表団を招聘しているが、その準備と現地視察のため四月二四日、田村三郎常任理事・東大名誉教授を団長とし、足立原貫富山県立技術短期大学農場長・教授、春原亘東京大学農学部附属農場助教授を団員とする先遣団が出発した。
先遣団は北京から桃源県に直行し、県全体の視察を桃源県農業現代化研究所と一諸に行うとともに今後の進め方について話合う。

童第周中国科学院副院長・中国人民政治協商会全國委員会副主席が三月三十日病氣のため北京で逝去された 七七才

千立群女史は二月二六日病氣のため北京で逝去された 六三才

協会はお二人のご冥福を謹んでお祈り申しあげ、中国科学院に弔電を送った。

ハルビン造船大学が来日

ハルビン造船大学訪日教育視察団は二月二十日から三月二三日まで協会の招きで来日した。

視察団は向坊隆東京大学総長、斎藤進六東京工業大学学長、清水司早稲大学総長、平島正喜電気通信大学学長久保村隆祐横浜国立大学学長、岡本道雄京都大学総長、神田慶也九州大学学長、木原博長崎総合科学大学学長と会見し大学間の今後の交流について話し合い相互理解を深め大きな成果を収め帰国した。
また来日中、視察団はその他、大阪大学、三菱重工業長崎造船所、大阪港、小野測器製作所を視察した。

視察団名簿

団 長 王松如 ハルビン造船大学学長
団 員 劉東明、譚荫蒲、鄧三瑞、楊士莪

陳 寛、羅芳本、花 柵、朱克定、
魏榮年

秘書長 宋毅英
通 訳 田忠魁

中国風洞技術訪日視察団

中国宇航学会常務理事、燕山公司副經理の劉柏羅氏を団長とする中国風洞技術視察団は協会の招きで四月四日から四月二十四日まで来日し日本航空宇宙学会河村龍馬会長及空気力学専門委員会と技術討議を行いました関係部門を勢力的に視察した。

また視察団は帰国前の四月二一日、航空会館七階ホールで中国の風洞の映画(三五ミリ)——中国が外国で始めて公開したもの

を上映、その後答礼カクテルパーティを開催した。これには有山兼孝会長、河村龍馬日本航空宇宙学会会長、河崎俊夫科学技術庁航空宇宙技術研究所長等多数の関係者が招かれて出席した。

視察団名簿

団 長 劉柏羅
副団長 韓志華 中国気動力発展センター

科学技術部副部长

団 員 饒行之、杜建国、蔡克非、任思根
凌雲沛、吳志賢、陳嶸民

通 訳 王徳民
訪門先

科学技術庁航空宇宙技術研究所、東京大学宇宙航空研究所、東京大学、京都大学、島津製作所、富士通、東芝、共和電業、浜松テレビ、ナック、リコー、小西六、富士写真光機セコム、宇宙科学博覧会

交流短信

※ 科学技術会議は中国国家科学技術委員会の招きを受け今年六月調査団を中国に派遣する。

※ 中国全国針灸針麻學術討論会——六月一日から五日まで、北京——に参加する日本代表団が四月二四日午後二時から国際文化会館で会合を開き、団長に高木健太郎 名古屋市立大学学長・日本針灸医学会会長、顧問に木下晴都 日本針灸師会会長、市岡正道 東京医科歯科大学教授、秘書長に相川貞男 北里大学教授・精神医学研究所室長を選出した。

※ 経団連沿岸開発委員会と協会は日中沿岸海洋開発について、王頌楨中国国家

海洋局第一海洋研究所副所長と二月二十八日、銀座第一ホテルで懇談した。懇談には経団連沿岸開発委員会から石井靖丸委員長、松石秀之副委員長、協会から漆戸敏事務局長が出席した。

お知らせ

新入事務局員

竹花弥生(女) 今年三月桜美林大学中国文学科卒業、四月一日から事務局員として勤務しております。

日本(来日中国代表団・視察団・研修生への案内書) みなさまのご協力で五月一日に発行いたします。

会員、賛助会員のみなさまにはこの連絡報と共に送りました。どうぞご意見をお寄せ下さるようお願いいたします。

名簿

四月一日から第三期になりました。第三期の名簿を作成しております。役職等変更のある方はご連絡下さい。